

夏季休業もいよいよ最後の週となりました。課題含め、2学期の準備はできているでしょうか。夏季休業の過ごし方を振り返り、終業式で話をした姿勢、歩き方のチェックをして9月1日を迎えてください。また、12日に行われた兵庫県吹奏楽コンクールS部門で本校は銀賞を獲得しました。お疲れ様でした。

さて、前号で記したオープンハイスクールに来てくれた中学生の数は2日間で800名を超えていました。保護者も600名近い方が来られ本校への関心の高さを改めて感じました。前号の来校者数の訂正をしておきます。



8月18日からは兵庫県教育委員会教育企画課の支援の元、被災地ボランティア活動が実現しました。昨年まではボランティアプラザ支援のバスで往復していたため初日と最終日は移動に費やし、中2日間の活動となっていました。本年は飛行機での移動で2泊3日の行程となりましたが、ほぼ同じ内容量の活動ができました。神戸空港に7時に集合し、最終確認(写真左)。その際には持ち物の点検などをしました。しかしながら、はさみ、カッター、スプレー缶などが手荷物検査場で見つかり、本校で預かるといった場面もあり、混雑する中、ようやくのことで無事に出発することができました。本校生17名を含む防災ジュニアリーダー育成校の五六名が参加しました。多賀城高校との交流(写真右)や大川小学校でお子様を亡くされたご両親の話を聞き、災害と危機管理の重要性を生々の声で聞くことなど初日から盛りだくさんの内容でした。8月19日には学校を超えて班を作り、「学校再開、医療」などのテーマを各班毎に設定してワークショップを実施したようです。その他、あおい地区での除草ボランティアに参加し、地域の方々との交流を深めたり、現地の方々から多くの話を伺うことができた(アドバイザーもかなり充実した方々に来ていただいたようで)、短い期間ではありましたが、この場でしか味わうことができない経験ができ、とても充実した内容であったとの報告を受けました。引率の先生方含め、お疲れ様でした。

神戸空港に7時に集合し、最終確認(写真左)。その際には持ち物の点検などをしました。しかしながら、はさみ、カッター、スプレー缶などが手荷物検査場で見つかり、本校で預かるといった場面もあり、混雑する中、ようやくのことで無事に出発することができました。本校生17名を含む防災ジュニアリーダー育成校の五六名が参加しました。多賀城高校との交流(写真右)や大川小学校でお子様を亡くされたご両親の話を聞き、災害と危機管理の重要性を生々の声で聞くことなど初日から盛りだくさんの内容でした。8月19日には学校を超えて班を作り、「学校再開、医療」などのテーマを各班毎に設定してワークショップを実施したようです。その他、あおい地区での除草ボランティアに参加し、地域の方々との交流を深めたり、現地の方々から多くの話を伺うことができた(アドバイザーもかなり充実した方々に来ていただいたようで)、短い期間ではありましたが、この場でしか味わうことができない経験ができ、とても充実した内容であったとの報告を受けました。引率の先生方含め、お疲れ様でした。



8月19日には秋季高校野球地区大会が始まりました。本校は1回戦で神戸弘陵学園高校と対戦。初回にヒットと相手の中継ミスから1点を先制し、有利に試合を進めました。終盤にしのいていた守備にほろびがでて逆転され、最終回も四球で相手にもらったチャンスを走塁ミスで得点に結びつけることができず1-3で敗退。敗者復活戦に回ることになりました。力的には大きな差がなかっただけに要所要所でのミスが悔やまれます。敗者復活も厳しい戦いが続くと思いますが、何とか勝ち上がり県大会に結びつけてほしいものです。今後の巻き返しに期待です。よろしくお祈りします。



8月19日には秋季高校野球地区大会が始まりました。本校は1回戦で神戸弘陵学園高校と対戦。初回にヒットと相手の中継ミスから1点を先制し、有利に試合を進めました。終盤にしのいていた守備にほろびがでて逆転され、最終回も四球で相手にもらったチャンスを走塁ミスで得点に結びつけることができず1-3で敗退。敗者復活戦に回ることになりました。力的には大きな差がなかっただけに要所要所でのミスが悔やまれます。敗者復活も厳しい戦いが続くと思いますが、何とか勝ち上がり県大会に結びつけてほしいものです。今後の巻き返しに期待です。よろしくお祈りします。

8月21日は、南あわじ市ユース防災プロジェクトに環境防災科の生徒が参加。本校浅井元校長先生が教育長をされている関係で日頃より小中学校への出前授業など多くの防災関連行事に協力させていただいているのですが、今回は小、中、高、大と世代を超えたグループの中でお互いの考えを刺激し合い、防災を考えるプロジェクトでした。私は初日しかいけなかったのですが、集まった各校がワークショップで防災について、考えるきっかけを作ることを目的としていましたので、各校に結構な時間が任せられ、大変なプログラムだと

8月21日は、南あわじ市ユース防災プロジェクトに環境防災科の生徒が参加。本校浅井元校長先生が教育長をされている関係で日頃より小中学校への出前授業など多くの防災関連行事に協力させていただいているのですが、今回は小、中、高、大と世代を超えたグループの中でお互いの考えを刺激し合い、防災を考えるプロジェクトでした。私は初日しかいけなかったのですが、集まった各校がワークショップで防災について、考えるきっかけを作ることを目的としていましたので、各校に結構な時間が任せられ、大変なプログラムだと



感じました。淡路三原高校は兵庫県(本校、兵庫教育大)、淡路(島内の小中高)、宮城(宮城教育大)、徳島(鳴門教育大)でそれぞれの地域の良さをPRすることこのプログラム全体のテーマづくりのワークショップを開催。テーマは本校生が考えた「㊦くさん ㊧なぼうさい ㊨ばー ㊩ぶあっぷ」となりました(㊦㊧㊨㊩の㊦㊧㊨㊩の㊦㊧㊨㊩の㊦㊧㊨㊩は最初から決まっており、㊦と㊧の続きの言葉を各グループで考え意見を出し合った結果です)。その後は、所長による阪神淡路大震災直後の話から、消防団による地域理解のおかげで救助ができたことや今後に向けての人間関係づくりの重要性等とても貴重な話を聞くことができました。施設見学をした後、国立淡路青少年交流の家に向けて出発。午後からは鳴門教育大学の学生が中心となってワークショップを展開。最初は、シンガーソングライターの asari さんが本校環境防災科設立20周年の際に本校生徒と一緒に作った「Share」という歌を披露していただきました。asari さんは舞子高校生と一度一緒に歌ってみたいという希望をもたれておられたので、どこかのタイミングで実現できればと思った次第です。歌の披露の後は、鳴門教育大学生が考えた防災すごろくをグループに分かれて実施。これは避難準備、避難所運営に関わる内容で、サイコロを振りながら出目の分進み、そこに書かれたある内容によってクイズをしたり、アイテムを手に入れたりしながら避難所に入り、家族構成によって避難所での問題を考えることをクリアしていくものでした。結構な時間がかかりましたが、小中高大と考え方の違いや気にするところの違いなどを感じながら取り組んでいたようでした。驚いたのは、小学生が真剣に話を聞き、取り組んでいたことです。内容的には難しい内容だと思うのですが、周りの学生もフォローしながらですが、よく頑張っていました。夕食後は、元石巻西高校齋藤校長先生による避難所運営ワークショップがあり1日目を終えたようです。2日目以降は参加できなかったのですが、市長への提言づくりに至るまでかなりハードな内容をこなしたようです。お疲れ様でした。



22日には兵庫県高等学校ユース陸上競技大会を観戦に行きました。時折雲も出たり、夕方には雨も降ったりと全般的には非常に暑い中での競技会でしたが、本校生もよく頑張りました。2年男子やり投では、福田選手が自己新で6位入賞(写真左)。1年男子400mでは北野選手が4位入賞(写真右)。後半の追い上げが素晴らしく、写真の段階では6位争いでしたが前の2人を捉え自己新記録。近畿には届きませんでした。2日目以降は見に行けなかったのですが、体調管理に気をつけて最後まで頑張ってください。



それぞれの競技では新人戦等も県予選が始まってきていると思います。来週末には2学期の始業式を迎えます。夏季休業のまとめをしつつ、2学期への準備を進め、気持ちを切り替えていきましょう。日の出時刻は5時30分台に、日の入り時刻は6時30分台に入ってきました。暑さはもうしばらく続きますが、確実に秋の足音も聞こえてきています。夏の疲れを残さないためにも生活のリズムを取り戻しておいてください。